

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.16

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

米軍性犯罪事件

外相に謝罪を要求

7月30日、衆院安全保障委員会と参院外交防衛委員会で閉会中審査が行われました。米兵による少女暴行事件や防衛省の不祥事が相次いで発覚

したのを受け、野党が要求し実現したもの。

赤嶺政賢議員は、昨年以降、県内で5件の米軍関係者による性暴力事件が発生し、県に通報されていない

なかつた問題を追及。日米両政府が95年の少女暴行事件を契機に米軍の事件・事故発生時の通報手続き

に合意した経緯にふれ、上川陽子外相に「通報手続きにそつて県に伝えるよう指示はしなかつたのか」と迫りました。上川氏は「被害者のプライバシー、捜査への影響等を踏まえた」などと弁明。赤嶺氏は「プライバシーを守るのは当たり前だ。被害者を守ろうとするのが県民の意思であり、全くの駄弁だ」と厳しく批判しました。



政府を追及する赤嶺議員

79年にあたり

衆議院議員 赤嶺政賢

の転換を政府に強く迫つた。唯一の戦争被爆国と

赤嶺氏は、通報がなかつたために県は抗議要請もできず、米軍は何の対策もとらず、あつてはならない事件が立て続けに発生したと指摘。「外務省の責任は重大だ。被害者と県民に謝罪すべきだ」と要求しました。

広島、長崎に原爆が投下されて79年がたった。8月6日、9日の平和式典で、両市の市長は、日本の安全保障を米国の核兵器に頼る「拡大抑止」政策

して一刻も早く核兵器禁止条約に加わり、核廃絶を主導してほしいというのは被爆地の当然の願いだ。広島平和都市記念碑には「安らかに眠ってください。過

ちは繰返しませぬから」と刻まれている。長崎は「長崎を最後の被爆地に」と訴え続けてきた。比例選出議員時代に長崎を繰り返し訪問し、原爆後遺症に苦しむ被爆者の訴えを国会で取り上げてきた。被爆地の願い実現に私も全力をつくしたい。



8月に孫は8歳の誕生日を迎えた。庭の掃き掃除や草刈りが上手になってい

▼22日の対馬丸の慰霊祭の後、孫と同年の子どもたちの遺影を見る機会があつた
▼学童の集団疎開の目的は、日本軍の足手まといになる住民を戦場から立ち退かせ、食糧を確保することにあつた。戦争遂行を理由とした疎開が痛ましい犠牲をもたらした
▼同じ過ちが今また繰り返されようとしている。宮古、八重山の住民約12万人の九州、山口への全員避難計画だ▼国策を誤り、子どもたちを犠牲にするような時代は絶対に繰り返してはならない。

県民大集会に2500人



プラカードを掲げる参加者ら

オスプレイの飛行停止と普天間基地の閉鎖・返還、米兵の少女暴行と政府による事件隠蔽を糾弾する

落してから13日で20年になるのを前に、欠陥機オスプレイの飛行停止と同基地の閉鎖・返還を求め、米兵の少女暴行と政府による事件隠蔽を糾弾する県民大集会(主催…第3次普天間米軍基地から爆音をなくす訴訟団、第4次嘉手納基地爆音差止訴訟団、「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」)が8月10日、宜野湾市内で行われました。

沖縄国際大学に米軍ヘリが墜城千恵美さんは、「みんなが本気

市民・子育て世代代表の与那

ずんの会の国会議員、県議会議員、そして会場一杯の2500名(主催者発表)の参加者は、日米地位協定の抜本的見直し、基地の整理縮小などを政府に要求する集会アピールを拍手で採択しました。

になったとき、きつと変えることが出来るし、子どもたちを守ることが出来る」と呼びかけました。玉城デニー知事も駆けつけ、「我々が抗う手段を取り上げられたわけではない。沖縄の状況を全国・全世界に伝え、決して諦めないと強く主張していこう」と訴えました。

赤嶺政賢議員ら5名のうり

ずんの会の国会議員、県議会議員、そして会場一杯の2500名(主催者発表)の参加者は、日米地位協定の抜本的見直し、基地の整理縮小などを政府に要求する集会アピールを拍手で採択しました。

ずんの会の国会議員、県議会議員、そして会場一杯の2500名(主催者発表)の参加者は、日米地位協定の抜本的見直し、基地の整理縮小などを政府に要求する集会アピールを拍手で採択しました。

市民・子育て世代代表の与那

ずんの会の国会議員、県議会議員、そして会場一杯の2500名(主催者発表)の参加者は、日米地位協定の抜本的見直し、基地の整理縮小などを政府に要求する集会アピールを拍手で採択しました。

この間の行動

- 上原やすお那覇市議補欠選挙の応援街頭宣伝(7月19日、20日)
- 沖縄等米軍基地問題議員懇談会で石垣・与那国・辺野古調査(同21日~23日)
- 沖縄県よりハード交付金の減額による影響について説明聴取(同25日)
- 日米共同訓練「レゾリュート・ドラゴン24」に対する抗議集会に参加(同27日)
- 宇栄原綱引きに参加(同28日)
- うりずんの会でJA沖縄中央会等の県内農業団体から農業問題に関する要請を受ける(8月1日)



- 沖縄県の池田竹州副知事より内閣府一括計上予算の要請を受ける(同7日)
- 沖縄空手少年少女世界大会に来賓として出席(同8日)
- 宜野湾市長選挙予定候補者の桃原イサオ出馬会見・事務所開きに参加(同9日)
- 小池晃党書記局長と辺野古のサンゴ移植の現地調査(同10日)
- 瀬長美佐雄県議激励会に出席(同11日)
- 冲教組主催の議員と現職教職員との学習会・懇談会に参加(同15日)
- 党議員団として旧優生保護法問題の全面解決に向けて優生連、原告団、弁護団らと懇談(同20日)
- 対馬丸慰霊祭に参加(同22日)
- 沖縄全島エイサーまつりに参加(同25日)

あかみね政賢

市議・国会議員35年の実績・足跡(12)

辺野古新基地建設の政府の口実崩れる

政府は辺野古新基地の完成まであと12年かかると、予算も3500億円から9300億円に増えると発表しました。一刻も早い普天間基地の危険性除去は「辺野古が唯一」という政府の口実は完全に崩れました。6月は県議選挙。日本共産党とオール沖縄の勝利めざして頑張ります。

野党共闘は前進、安倍政治は破綻

憲法も法律も勝手な解釈で強権政治を続ける安倍政権。「桜を見る会」疑惑、「カジノ汚職」などモラルも崩壊しています。野党と市民の共闘は前進をとげ、安倍改憲をとめてきました。勝負は次期総選挙。安倍政権の総退陣をめざします。(「アカミネセイケン国会だより」2020年1月号)

戦没者を冒瀆する土砂採取計画の撤回を

沖縄戦最後の激戦地で、戦没者の遺骨を遺族に届ける活動

が続けられている本島南部の土砂を辺野古の埋め立てに使うとする菅首相を厳しく追及。座間味村や渡嘉敷村など県内各地で頻発する米軍の低空飛行訓練の即時中止を要求しました。

コロナ対策の強化や土地利用
安全・迅速なワクチン接種、大規模なPCR検査、医療機関や事業者・生活困窮者への支援などは、コロナ封じ込めをうえて重要な課題であり、政府に対し繰り返し要求してきました。沖縄への渡航者に対する出発地での国の負担によるPCR検査は、この夏休み限定ですが、実現。引き続き延長を求めます。

コロナ禍にもかかわらず国会終盤になって、政府・与党は、基地の1キロ圏内などに住む住民を監視し、土地・建物を規制する法案を強行採決しました。悪法の廃止にむけて全力をあげます。(「アカミネセイケン国会だより」2021年8月号)

沖縄戦最後の激戦地で、戦没者の遺骨を遺族に届ける活動

沖縄戦最後の激戦地で、戦没者の遺骨を遺族に届ける活動

沖縄戦最後の激戦地で、戦没者の遺骨を遺族に届ける活動